

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成30年8月24日 NO.5 穂坂小学校長

「おはようございます！」の元気な声と愛らしい笑顔が戻ってきました……

気持ちを切り替えて、二学期のスタートです！

8月21日、子どもたちが、はつらつとした姿で登校してきました。今年は記録的な暑さが続いたため、2学期の始業式を体育館で実施できるかどうか心配しましたが、当日は風もあり涼しさが感じられる中で行うことができました。残暑は厳しいですが確実に秋は近づいていると感じるこの頃です。

28日間の夏休み、おかげさまで事故もなく、無事に新学期が迎えられましたことを、たいへんありがたく思います。2学期も穂坂小の子どもたちが楽しく元気に過ごすことができるように、そして子どもたち一人ひとりが自分の力を十分に発揮できるように、教職員一丸となって努力していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

始業式の校長のあいさつでは、子どもたちに「人間だれでも得意、不得意があります。自分の不得意と思われる部分が、認め合いにより、存在感をうみだし、さらには自信へとつながっていくのです。」といった主旨のことを、イソップ物語の『うさぎとかめ』をモチーフに物語風にアレンジし、話しました。この話を心の片隅におき、穂坂小の子どもたちが互いに認め合いながら多くのことに挑戦し、自尊感情を高め、自信をもって生活してくれることを期待しています。始業式の最後に6年生のブラスバンドによる伴奏とともに校歌を歌いました。全校児童79名とは思えないほどの元気いっばいの声が響きわたり、2学期のやる気を感じました。

今週は、夏休み明けで落ち着かない一週間になるかと思いましたが、さすが穂坂小の子どもたち…。夏休み気分を引きずることなく、気持ちの切り替えがしっかりできていて、よい2学期のスタートになっています。



シリーズ④

褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！

たった一言の「ごめんね♡」「わるかったね♡」…の言葉の奥には、あたたかい愛情と信頼関係が隠されています。

親は聖人君子ではありませんから、時には失敗もします。そんな時子どもは、親の矛盾いかげんさを鋭く突き、的確な理由を述べながら責めてくることがあります。

場合によっては「うるさいわね。親に向かって何てこと言うの！」と親が自分を防衛することも……。しかし一つ言えることは、「子どもは、素直にあやまる親を決してバカにしない。」ということです。むしろ「正直な親」だと信頼感を抱きます。子どもはそこで正直さ、素直さの大切さを学んでいるのです。

親は子どもにとってのお手本です。昔から、『子どもは親の言うとおりにはないが、親のするとおりになる。』と言われてい



篠原教諭の産休に伴う学級担任変更のお知らせ

たんぽぽ学級担任の篠原みさと教諭が、8月13日より産休に入りました。

ついでには2学期から大柴千晶(おおしばちあき)教諭が産休代替教諭として、たんぽぽ学級担任を務めることになりました。教職経験豊かな大柴教諭です。どうぞよろしくお願ひいたします。

